

平成30年度1月号 [1月15日(発行)]



# 東風だより

川口市立東中学校  
川口市東本郷2-20-47番地  
TEL 048-281-4065  
特別支援学級 285-2423  
さわやか相談室 281-4627  
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

## 子どもの才能の見つけ方、伸ばし方

校長 安部 正 幸

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。さて表題は、1月7日(月)リリアで行われた川口市教育研究会主催の教育講演会で、講師のフリーアナウンサー・辻井いつ子さんが全盲の我が子(ピアニスト 辻井伸行 氏)を第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで日本人初の優勝に導くまでの体験をもとに、その子育て法を話された時の演題です。その内容は教員だけが聞くのにはあまりにももったいないと感じました。そこで保護者の皆さんにもお伝えしたく、その一部ですが以下に紹介したいと思います。

### 子どもの可能性を信じる

わが子のダメな姿に惑わされず、この子には引き出されることを待っている大きな可能性が必ずあると強く信じる。

### よく観察し才能の種を発見する

愛情を持って子どもを見つめ、小さな反応や変化を見落とさず、何に興味と関心をもっているかを見極める。親の固定観念で子どもを見ない。

### ネガティブな言葉は使わない

「できない」「無理」「ダメ」といった消極的な言葉は禁物。「大丈夫」「きっとできる」「いつもどおりやればいいのよ」とポジティブな言葉で背中を押してあげる。

### 本物に触れさせる

目先の結果より、心を耕すことが大切。五感で味わう大自然、生演奏の輝き等。本物だからこそその力を体感させる。本物の迫力が子どもの心を豊かにする。

### 人との出会いを大切にする

親のできることは限られている。おじけず積極的に出会った人たちにアプローチし、アドバイスとパワーとチャンスをいただく。

### 明るく楽しくあきらめない

どうせやるなら親自身が明るく楽しく。暗くなっているのは始まらない。そのプラス感覚が子どもの養分になる。そして、あきらめない熱意でチャンスと呼び寄せる。

これらの内容は、講師の著書『親ばか力』の中でも紹介されています。その中でさらに「『親ばか力』とは、モンスターペアレントをはじめとする自己中心的な親ばかになることではありません。親が、子どもの可能性を信じてよく観察する。そして、たっぷりの愛情をもってほめ応援することで、子どもの才能を引き出してあげる力のことです。」と述べています。

今年は元号が変わる大きな節目の年です。東中の生徒達が、内に秘めた未来への可能性を十分に引き出し、明るく大きく成長していってくれることを願ってやみません。